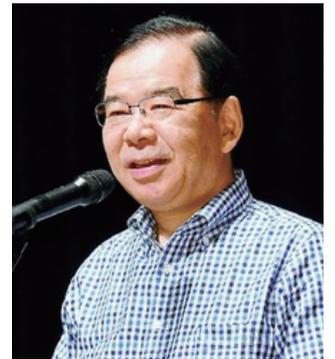




# 「残業代ゼロ制度」(高度プロフェッショナル制度) 廃止に向けた新たなたたかいを

## 日本共産党・志位和夫委員長がよびかけ



訴える志位和夫委員長

「残業代ゼロ制度」(高度プロフェッショナル制度)を含む「働き方改革」一括法が、6月29日の参院本会議で採決強行され、自民、公明、維新の賛成で、可決・成立しました。

しかし、国会審議では野党の追及で、労働時間データも労働者のニーズも虚偽と捏造(ねつぞう)であることが発覚し立法事実が崩壊、「高プロ」は長時間労働に歯止めがなく、対象業務は省令で自由に決められ、年収要件も「高収入」とは

名ばかりなど、致命的な欠陥と抜け穴だらけの法律であることが明らかになりました。こんな法律を実施しても、労働現場での深刻な矛盾は避けられません。労働時間の規制を取り払う「異質の危険」



採決強行に抗議する人たち = 6月28日、参院会館前



### ほくと医療生協赤羽東診療所

## ほっとカフェが開設7周年

診療を待つ患者さんや、地域に住む高齢者などために開設された診療所の「ほっとカフェ」が7周年を迎えました。3日には記念のお好み焼き大会が開かれ、大勢の利用者らがアツアツのお好み焼きに舌鼓を打っていました。(のの山けん)

# 生活保護費着服の区職員が逮捕

北区議会本会議

## 花川区長の給与50%減額(3ヵ月)を議決

3月上旬に発覚した区職員による生活保護費の着服について、4日、元北区職員(6月22日付で懲戒免職)が、詐欺の容疑で王子警察署に逮捕されました。一方、6月29日の北区議会第2回定例会最終本会議では、この問題を受けて花川区長はじめ特別職の給与を減額する条例案が、全会一致で可決されました。

元職員は、2010年5月から18年3月までの間、担当する生活保護受給者12人が死亡・転出しているにもかかわらず、「死亡・転出廃止」の事務処理を行わず、虚偽の「面接カード」を作成・提示して経理担当を欺くなどして生活保護費を区から不正に支出させ、その一部を自らの生活費や遊興費などに使うために騙し取っていました。元職員が認めている不正支出は、現時点で12件、約6500万円となります。一方、経理担当を欺いた「面接カード」に

元職員は、2010年5月から18年3月までの間、担当する生活保護受給者12人が死亡・転出しているにもかかわらず、「死亡・転出廃止」の事務処理を行わず、虚偽の「面接カード」を作成・提示して経理担当を欺くなどして生活保護費を区から不正に支出させ、その一部を自らの生活費や遊興費などに使うために騙し取っていました。元職員が認めている不正支出は、現時点で12件、約6500万円となります。一方、経理担当を欺いた「面接カード」に

については文書保存年限が一年であるため、区は詐欺行為の裏付け資料が提出できる期間の不正支出額を219万9240円と確定し、6月15日付で元職員を詐欺の罪で王子警察署に告訴しました。

こうした事実経過については、4日に開かれた幹事長会で議会に報告がありました。

これに先立つ区議会第2回定例会本会議では、「責任を重く受け止める」とした花川区長提出の特別職減給の条例案が可決、区長は7月より3ヵ月、50%の給与減額となりました。

### 条例で決定された特別職の減給の内容

花川 與惣太	区長	減給10分の5	3ヵ月(2018年7~9月分)
内田 隆	副区長	減給10分の3	3ヵ月(2018年7~9月分)
依田 園子	副区長	減給10分の3	3ヵ月(2018年7~9月分)
清正 浩靖	教育長	減給10分の1	1ヵ月(2018年7月分)

た(囲み参照)。

花川区長は4日、区民へのお詫びとともに、再発防止検討委員会を設置して、本年9月までに、事件の原因究明と再発防止策を示す、などとするコメントを、北区ホームページに発表しました。

## 広がる人と人のつながり

### 赤羽公園で第2回北マルシェ開催

## Kita Marché

猛暑となった6月30日と7月1日の2日間、赤羽公園で、第2回北マルシェが開催されました。「人と人が繋がる地域連携」をテーマにしたイベント。たくさんの方が買いものや舞台での演奏を楽しんでいました。(のの山けん)

